

2022年 (2022年1月～12月)

〈論文〉

- 上野奨太, 高屋成利, 増田知子, 吉尾雅春. 脳卒中患者歩行練習において長下肢装具から短下肢装具への移行に要する日数に関連する因子. 理学療法学. 2022 ; 49 : 361-366.
- Fukuma K, Tanaka T, Takaya S, Sojima M, Kobayashi K, Shimotake A, Morita Y, Koga M, Toyoda K, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A, Ihara M. Developing an asymmetry method for detecting postictal hyperperfusion in poststroke epilepsy. Front Neurol 2022; 13: 877386.

〈学会発表〉

- 吉村直也, 飛田伊都子, 佐々木雅子, 橋本康子. 応用行動分析学を活用した電話での入院説明における行動変容. 回復期リハビリテーション病棟協会第39回研究大会. 東京, 2022年2月.
- 福石逸美, 木下香代, 安本絢美, 上野奨太, 高屋成利. セラピストとの連携による入浴評価から始める機能改善に向けた介護士の取り組み. 第39回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会, 東京, 2022年2月. (優秀演題受賞)
- 吉村直也, 伊丹修平, 大田彩織, 加藤愛美, 吉尾雅春. パーキンソニズムによる慢性的な腰曲がり・ピサ症候群を呈した脳血管患者. 第30回慢性期医療学会. 京都, 2022年11月
- 夏原耀一, 安本絢美, 森涼子, 吉尾雅春, 課題指向型アプローチと Transfer Package を活用した作業療法体験～入院時重度運動麻痺であった脳卒中患者の食事動作獲得に向けて～. 第36回大阪府作業療法学会. 大阪. 2022年12月. (優秀演題受賞)
- 上野奨太, 増田知子, 吉尾雅春. 麻痺側上肢スイングを誘導した歩行練習により歩行速度および上肢スイング幅の改善を認めた脳卒中例. 第20回日本神経理学療法学会. 大阪, 2022年10月.
- 浦田奏恵, 熊倉勇美, 北野剛史, 名古将太郎, 高屋成利. 小脳性認知情動症候群 (CCAS) を疑って適切な評価および訓練を実施することで安全に自動車運転再開に至った症例. 第23回日本言語聴覚学会, 新潟, 2022年6月.
- 加藤孝幸, 高屋成利. 自画像描画を手がかりにしたリハビリテーションが日常生活動作獲得に有効だった脳卒中後の半側無視症例. 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜, 2022年6月.
- 西村武志, 柏木祥子, 高屋成利. 回復期リハビリテーション病院での新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを試みて. 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜, 2022年6月.
- 富田聡, 大江田知子, 高屋成利, 高坂雅之, 朴貴暎, 石原稔也, 野元翔平, 斉藤慶介, 水井大介, 高木宥磨, 米谷廉, 玉井優衣, 大森直樹, 田原将行, 山本兼司, 澤田秀幸. パーキンソン病における咳感受性低下は肺炎発症を予測する注目すべき非運動症状である. 第16回日本パーキンソン病運動障害疾患コンgres, 東京, 2022年7月. (最優秀演題受賞)
- 福間一樹, 鎌田将星, 山本壱弥, 馬明克成, 高屋成利, 西岡心大, 若林秀隆, 藤島一郎, 猪原匡史. 急性期脳卒中におけるサルコペニアと摂食予後. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学術大会, 千葉, 2022年9月.
- 伊藤直城, 高屋成利, 吉尾雅春. 頭部CT画像を用いた voxel-based lesion-symptom mapping 解析の試み. 神経理学療法学会, 大阪, 2022年10月.
- 富松幸子, 山口亜弓, 辻令奈, 小林節子, 太田はるみ, 高屋成利, 橋本康子. パーキンソン病にて回復期リハ病棟入院中にアポカイン皮下注射を開始した患者への薬剤師による退院支援. 第30回慢性期医療学会, 京都, 2022年11月.
- 木下香代, 高屋成利. 回復期病棟の介護士の役割を考える: 入浴評価シート導入後の変化. 第30回慢性期医療学会, 京都, 2022年11月.
- 山本宏樹, 吉尾雅春, 林敦史, 運動麻痺・高次脳機能障害を呈した独居脳卒中患者の自宅復帰に向けた取り組み～ 第30回慢性期医療学会, 京都, 2022年11月.
- 武部優希, 吉尾雅春. 左視床, 被殻の混合型出血により治療が難渋した症例.

第 20 回日本神経理学療法学会学術大会. 大阪, 2022 年 10 月.

武部優希, 吉尾雅春. 交通事故による頸髄損傷で不全四肢麻痺を呈した症例～エレベーターなし集合住宅 3 階の自宅復帰に向けて～ 第 30 回慢性期医療学会、京都、2022 年 11 月.

- 後藤祐貴、吉尾雅春. 左被殻出血後の重度右片麻痺により歩行獲得が困難であった症例に対する再考. 第 34 回大阪府理学療法学会学術大会. 大阪、2022 年 7 月.
- 増田知子. 特別講演 理学療法士の臨床力を問う. 第 24 回熊本県理学療法士学会, 熊本(オンライン), 2022 年 1 月
- 増田知子. シンポジウム 義肢装具に関するエビデンス～どこまでが構築され、何が課題か～「エビデンスからみる下肢装具を用いた脳卒中後の歩行再建」. 第 59 回日本リハビリテーション医学会学術集会. 横浜, 2022 年 6 月
- 増田知子. ランチョンセミナー 装具療法革命. 第 20 回日本神経理学療法学会学術大会. 大阪, 2022 年 10 月
- 増田知子. イブニングセミナー 脳卒中患者の歩行障害と電子制御式膝ブレーキを用いた歩行練習. 第 6 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 岡山, 2022 年 11 月
- 増田知子, 田村哲也, 廣谷和香, 森涼子, 名古将太郎, 吉尾雅春, 池田吉成, 橋本康子. 回復期リハ病棟における若年セラピストへの教育に主眼を置いた教育システムの構築. 第 30 回日本慢性期医療学会. 京都, 2022 年 11 月
- 大賀久美子, 山本亮, 吉尾雅春. 脳卒中後の自宅生活中に転倒・大腿骨頸部骨折を起こした症例の訪問リハの経験. 第 30 回慢性期医療学会、京都、2022 年 11 月.
- 若山浩之、吉尾雅春、林敦史、ラクナ梗塞を呈した認知症患者に対し歩行再獲得を目指した理学療法経験～ 第 30 回慢性期医療学会、京都、2022 年 11 月.
- 亀井こずえ、鞍田三貴、武内海歌、岩崎真利恵、桜井史明、岩崎祐、橋本康子. 糖尿病を有する回復期リハビリテーション入院患者の適正エネルギー量の検討. 日本リハビリテーション栄養学会. 東京(オンライン), 2022 年 1 月.
- 中村早緒里、亀井こずえ、岩崎真利恵、桜井史明、鞍田三貴、橋本康子. 脳血管疾患患者における回復期リハ病院入院前大幅体重減少患者の割合. 第 30 回慢性期医療学会、京都、2022 年 11 月.
- 黒田歩、上野奨太、吉尾雅春. 重度運動失調および姿勢制御障害を呈した脳幹出血例に対する運動学習戦略と介入経過. 第 20 回日本神経理学療法学会学術大会. 大阪 2022 年. 10 月
- 森涼子、椿野颯汰、橋本康子. 病院全体で FIM を使った予後予測において、実績指数をマネジメントする取り組み. 第 30 回慢性期医療学会、京都、2022 年 11 月.